

科目名称	社会と生活	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期		20
担当教員	山本 希	授業に関わる 実務経験	☐ 有 () ☒ 無	

【1】授業概要

看護者と患者との間柄を、根源的な「自己－他者」関係から哲学的に考察する。

【2】学習目標

1. 「自己の本質」と「ケアの本質」、いずれも他者との関係に根差していることを理解し、説明できる。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力

- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
- 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。

II. 看護を実践する力

- ☐ 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
- 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
- ☐ 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。

III. 人間関係を構築する力

- ☐ 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
- ☐ 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。

IV. 主体的に学び続ける力

- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
- 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	イントロダクション	講義
2	「自分」とは何か	講義
3	「語ること」の意味	講義
4	「聴くこと」の意味	講義
5	「他者」の不可知性	講義
6	「自己」の不可知性	講義
7	「ケア」の場を拓く	講義
8	共同作業としての「ケア」	講義
9	「他者」への責任	講義
10	筆記試験 まとめ	

【5】評価方法

1. レポート形式の試験を実施

【6】教科書

教科書は使用しない。適宜プリントを配付する。

【7】参考書

村上靖彦 著 「摘便とお花見 看護の語りの現象学」 医学書院 2013 年
 鷲田清一 著 「じぶん・この不思議な存在」 講談社現代新書 1996 年

【8】受講生へのメッセージ